

会 議 録

1 附属機関の会議の名称

水戸市立博物館協議会

2 開催日時

平成28年2月29日（月） 午後1時30分から午後3時40分まで

3 開催場所

水戸市立博物館3階視聴覚室

4 出席した者の氏名

(1) 委員

岡田 貴子, 河原 将子, 笹目 礼子, 鈴木 暎一, 大和田 栄, 小菅 次男, 藤田 雅一,
藤本 陽子, 小塚 のり子, 和田 祐之介, 高倉 富士男, 藤 和博, 吉川 明宏

(2) 執行機関

白石 嘉亮, 玉川 里子, 坂本 京子, 中村 有紀子, 藤井 達也, 後藤 俊則

(3) その他

5 議題及び公開・非公開の別

- ・企画展「夏休み子どもミュージアム チョウチョ大集合！」の結果報告について（公開）
- ・企画展「戦後70年－戦争の記憶を未来へ」の結果報告について（公開）
- ・特別展「知られざる女流画家 櫻井雪保－父・雪館と歩んだ絵画の道－」の結果報告について
(公開)
- ・特別展「子どもは風の子 昭和の子」－今、よみがえる昭和のぬくもり－の開催について
(公開)
- ・平成27年度教育普及事業の結果について（公開）
- ・平成28年度予算(案)について（公開）
- ・耐震補強工事及び設備改修に伴う博物館の休館と事務所の仮移転について（公開）
- ・平成27年度博物館努力目標の達成状況について（公開）
- ・平成28年度博物館運営方針及び努力目標（公開）

6 非公開の理由

7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人

8 会議資料の名称

平成27年度第2回水戸市立博物館協議会

9 発言の内容

(議事)

委員長

それでは、議事に入ります。最初に、夏休み子どもミュージアムから報告をお願いします。

執行機関

<会議資料P 1～6, 企画展「夏休み子どもミュージアム チョウチョ大集合!」について報告>

委員長

次に、戦後70年の報告をお願いします。

執行機関

<会議資料P 7～12, 企画展「戦後70年—戦争の記憶を未来へ」について報告>

委員長

櫻井雪保の報告をお願いします。

執行機関

<会議資料P 13～17, 特別展「知られざる女流画家 櫻井雪保—父・雪館と歩んだ絵画の道—」について報告>

委員長

展示をすることは大変な苦労があることで、館の皆さんの努力で、それぞれの展覧会が多くの方に観ていただけて良かったと思います。夏休み子どもミュージアムも恒例となり、子どもたちに浸透してきている。戦争をテーマにした展示も3,000人以上の方が入館されている。また、アンケートの取り方も良かったようで、これからも工夫していくと良いだろうと思いました。櫻井雪保と父親の雪館の展示は、あまり人数が集まらなかったとのことですが、かつての五百城文哉のように、博物館が隠れた人物を発掘し、その展覧会を繰り返し実施していくことで、だんだん浸透してくるでしょう。それも博物館の使命だと思いますので、あまりがっかりしないで櫻井雪保パートⅡを企画してもらいたいと思います。

事前に会議の資料を送ってくれたようですので、皆さんお読みになって感想もあると思います。御意見や御感想を頂けたらと思います。

_____ 委員

水戸の街には、施設や展示してある物に対して外国人向けの説明が少ないと感じています。博物館では、展示物のキャプションなどに外国人向けの表記を行ってもらいたいと思います。

戦後70年のアンケートの感想の部分を見まして、子どもたちがアンケートに自分の意見をまとめて書いていることに感銘を受けました。また、“知られざる”といった人物を発掘し、繰り返し繰り返し展示することをこれからも大事にしていだけたらと思いました。

_____ 委員

博物館の同業者という立場から、水戸市立博物館には県都水戸の博物館として頑張っていただき

たいと思っています。常々見習わなくてはと思っているのは、ワークショップや関連行事が充実している点です。また、広報はどこでも悩み多いところなのです。メディアを使うことはもちろんですが、例えば、水戸駅の北口改札の所にある電光掲示板にPR文を流すことなども効果があると思います。水戸は空襲を受けましたから、市の博物館として、戦争の展示はアーカイブ的なものを含めて継続していかなくてはならないことだと思います。櫻井雪保展については、作品の数がそう多いわけでもないのに、逆に発掘して、繰り返いろいろな形で開催することに意義があると思います。昨今、数値目標は必ず言われますが、少しずつでも共感している方を増やせば良いと思っています。

____ 委員

今回、資料を事前に送っていただいたので、自宅で読ませていただいたのですが、特にアンケートの意義は大きいと感じました。その中で、「もっと広報したほうがよい」という意見は、観た方が感動されて、もっと他の人たちにも知らせるべきだという考えの表れだと思いました。また、関連行事の内容も豊富で、水戸市立博物館ならではの感心しました。アンケートの結果を見て、今後リピーターも増えるのではないのかと思いました。

____ 委員

以前、宣伝のことは気にしなくていいといった話をしたと思います。観に来てくださる方は、あまり文句などは言わないように思います。BGMを流したらといった意見もあったようですが、その方も支持者の一人だと思います。良いものを企画して展示すれば、人から人へ話題が伝わり、入館者も増えると思います。確かに雪保は作品が少なかったのですが、展示の仕方や視点を変えるなどして、展示を繰り返行えば評判が良くなると思います。

____ 委員

戦後 70 年で、食べ物や着る物がなかったという話題がありましたが、GHQの資料に、ある団体の人たちが食糧や衣料を船に積んできて、日本の人たちに配ったという記事を見付けました。戦後、悲惨な日本の現状を見たアメリカの人たちの中にも、支援物資を配ってくれた人たちがいたことなど、日本の視点での戦争の展示ばかりではなく、アメリカの人たちから見た戦争というものも紹介する必要があるのではないかと思います。

委員長

当時、小山線、現在では水戸線ですが、一日一往復くらい進駐軍の専用列車が通っていました。線路の下に僕ら子どもたちが待っていて、チョコレートくれ、缶詰くれ、と叫んだ覚えがあります。アメリカの兵隊さんが、子どもたちが叫んでいるのを見て、缶詰やチョコレートを投げつけてくれることもありました。

____ 委員

本当に物が無い、食べ物がない時代でした。戦争の展示で感心したのは、水戸駅がグラマンに機銃掃射された時に亡くなられた女の方についての手記が展示されていたことです。よくぞここまで見つけ出したなと感じました。このような実体験的な展示があると、戦争の悲惨さや二度と繰り返してはならないということが伝わると思います。このような資料をこれからも展示できれば、訴え

る力は大きいと思いますので、資料の収集にも力を入れると良いと思います。

____ 委員

所用で台南に行った折、日本人を祀っている社に参りました。なぜ祀られているのか現地の人に教えてもらったところ、その方は日本の戦闘機乗りで、操縦していた戦闘機が攻撃され、街なかに墜落しそうになりながらも、街から離れたところまで飛んで行って落ちたというのです。街に被害を与えまいとしたその行為を称え、祀られているそうです。その方は水戸の三の丸小学校を卒業した方と聞いています。「飛虎将軍」と呼ばれて、現地で大切にされていて、新聞にも取り上げられたようです。戦後 70 年のこともあり、あまり関連がないかもしれませんが、最近知ったことを話しました。

委員長

戦争の展示は、今回が最後ではなく、これからも語り継いでいかなければならない大事なことであると思います。戦争関連で、水戸市出身の方についても、調査や資料収集をして展示をすることも考えなければならぬと思います。

____ 委員

子どもたちも、学校で戦争については勉強していますが、博物館の良さは、身近な所でこんなことがあったと感ぜられるところだと思います。それは、アンケートの内容からも分かりました。今のところ人数的にはそう大きく伸びていないかもしれませんが、続ける価値は高いと感じました。

____ 委員

現在、私は日立市の演劇のプロジェクトに携わっているのですが、それは戦後の日立市の桜の植樹の歴史についての話で、今高校生たちと練習をしています。高校生たちから艦砲射撃って何ですか、機銃掃射ってどのようなことですか、戦争中に女高生はセーラー服ですかといった質問が出る。ピースプロジェクトの時にも参加して経験しているのですが、現在の高校生に当時の言葉の意味や状況を教えるのは大変です。日立市も艦砲射撃で大きな被害があったところですから、水戸ばかりではなく周辺市町村からも資料を集め展示をすると、その地区からの入場者もあるのではないかと思います。

委員長

今後は、周辺地域からの資料収集も大事ですね。

____ 委員

櫻井雪保の講演会には、55 名の方が来られています。講演の内容やどんな方が来場されたのか教えてください。また、資料 16 ページの施設に対する意見で、観覧中にエレベータの音が気になったとありますが、このことについては、観覧施設としてふさわしくないと誰もが感じていることではないかと思われ、それに関連して耐震補強工事でどこまでの範囲が設備改修されるのか、収蔵品はどこに保管されるのかなどお聞きしたいと思います。

委員長

耐震補強工事の内容と収蔵品の保管については、後から説明をいただきたいと思います。講演会について御説明ください。

執行機関

講演会の参加者は、博物館で「一般」と区分している方たちです（65歳以上を含む。）。事前に電話でお申し込みいただき、さらに当日の参加者も若干いました。講師の先生は、実践女子大教授で日本美術史を教えていらっしゃる、江戸時代の女性画家の研究者でもあります。講演では、検証する材料があまり多くない櫻井雪保ですが、同時代の女流画家と比べ、若いうちから画家としての実力を蓄えていたこと、後年の作品については完成度も高く、もっと評価されて良い作家であるということなどをお話してくださいました。

_____ 委員

私も、皆さんと同じで戦後 70 年の展示で関連行事の多さや内容と入館者に感激いたしました。今回、この展示の関連行事で語り部の方のお話を聞くことに参加してみたのですが、親子連れとか小さい子の参加が多くて驚きました。語り部の方も話し慣れているとはいえ、高齢で聞きやすい声ではないのですが、やはり生の声を聴くと引き込まれる良さがあります。

委員長

戦争展についても、繰り返し繰り返し開催することによって、入館者が 3,000 人を超えました。これからも引き続き、視点や見方を変えながら続けると、遠からず 5,000 人を超えると思います。

_____ 委員

アンケートに外国人の方が協力してくれていましたが、日本語が少し分かるこの方でも解説の内容は全部読めなかったと言っています。近年は歴史館や各博物館でも外国人の入館者を見かけるようになってきましたので、キャプション等も英語表記のものを作って掲示する時期に来ていると思います。そのようなことが、水戸の歴史とか文化とかを伝えていくのに重要なことだと思いました。

委員長

弘道館でも英語、韓国語、中国語での説明の表記が具体化するようですので、博物館でも是非、取り入れるべきと思います。

_____ 委員

弘道館では、スマートフォンを利用して説明ができるようにもなりました。

委員長

茨城空港から水戸に外国人の観光客が来る時代になっていますので、これからますます多言語表記が必要になります。

_____ 委員

どのような人が博物館に来てくれるか考えると、おそらく興味がある方だと思います。興味があ

ってもなかなか来られない方もいる。ですから、来られる人を大事にしてもらいたいと思います。

また、以前に比べると関連行事やワークショップも多く、博物館の方たちは大変だと思いますが、喜んでくれている人もいます。リピーターなども増えているのではないかと思います。

____ 委員

それぞれが意欲に富んだ企画だと感じました。幅広い年代層が利用されていることもアンケートの結果で判断できました。ただ、博物館のことは知っていたが、来たことがなかった人やあることを知らなかった人もいます。新しい利用者にはリピーターになってもらうような仕掛けも必要だと思いました。

委員長

それでは、次の特別展「子どもは風の子」の説明をお願いします。

執行機関

<会議資料P18～23, 特別展「子どもは風の子 昭和の子」ー今、よみがえる昭和のぬくもりーについて説明>

委員長

詳しくは、協議会終了後に御案内いただくことにして、次に平成27年度教育普及事業について説明をお願いします。

執行機関

<会議資料P24～26, 平成27年度教育普及事業の結果について報告>

委員長

ただ今、二点ほど報告事項の説明をいただきましたが、特に質問はございませんか、なければ次に進みます。来年度の予算について説明をお願いします。

執行機関

<会議資料P27, 平成28年度博物館予算(案)について説明>

委員長

何か御質問はありますか、なければ移転について説明をお願いいたします。

執行機関

<会議資料P28, 耐震補強工事及び設備改修に伴う博物館の休館と事務室の移転について説明>

委員長

このことについて何か御質問はありますか、なければ次に進みます。それでは達成状況について説明をお願いします。

執行機関

<会議資料P 29～31, 平成 27 年度博物館努力目標の達成状況について説明>

委員長

ただ今の説明で何か御質問はございますか。なければ平成 28 年度努力目標についてお願いします。

執行機関

<会議資料P 32, 平成 28 年度博物館運営方針及び努力目標について説明>

委員長

このことは協議事項になっておりますので、意見があればお話しください。

_____ 委員

改修について、駐車場に関して何も示していないのですが、今までと変わりはないということでしょうか。

執行機関

今回は、あまりお金をかけられないこともあり、耐震補強工事と予算の範囲内で空調と衛生設備などを含め、建物そのものを長寿命化させるための改修になっています。駐車場の問題も、この建物がそのままであれば広げられないことになります。

_____ 委員

アンケートの結果で駐車場のことが挙げられていて、車がないと来られない方や他県からお客を迎え入れるにしても、どうにかして広げる方法はないのでしょうか。

委員長

以前に、市長に会って強く要望したのですが、市長は、これから国体や市民会館などの大型プロジェクトを控えていて厳しい状況ですが、その事業が終わり次第、優先的に博物館についても考えますと言われました。こちらとしてもできる限り早く博物館について着手していただくことをお願いしました。駐車場の問題は、現在の場所では拡張するにも限度があり、それで入館者を増やすことは難しいと思います。

_____ 委員

2年間休館するとのことですが、運営方針及び努力目標の中では再オープンまでにどのような事業をするか意欲的な考えが見えない。現状維持で再開するのではなく、新たな博物館を創ってゆくのだという考えで企画や運営を行う努力が必要だと思いました。

_____ 委員

新しいものをつくる時には、博物館が決めるのではなく、もっと上の組織で考えて決めていくものだと思います。人が減らされ、予算もない中ではかなり厳しい状況で、現状維持でもやむを得ないと感じます。

執行機関

2年後に博物館が再オープンとなりますが、その中身につきましては十分に考えていきたいと思っております。2年間の休館中は職員2名が減になりますが、再開に向けては職員の増を要求していきたいと思っております。案内につきましては、「水戸のこと」というスマートフォンのアプリがありまして、外国人向けのPRもしております。再オープンに向けては、そのような案内機能を導入できるように検討していきたいと考えています。

移転につきましては、水戸市の総合計画では今後10年間、平成35年までは現在位置となっておりますが、協議会から市長への要望も踏まえ、4大プロジェクトが終了次第、新博物館建設について検討することになっておりますので、次の総合計画には反映させていきたいと考えています。

委員長

リニューアルオープンをするまでの2年間、博物館協議会も休んでいるわけではなく、休館中であつても協議会は開催されます。ですから新オープンに向けて、我々協議会としても積極的に、限られた予算、限られた人数の中でどのようなことができるか、どのようにしたら良いのか協議を進めていきたいと思っております。

_____ 委員

日々の研究があつて展示があるのですから、休館の2年間でも、それを継続しないと意味がないのです。人が減ることは今の研究体制を維持できないことになる。このことは、分かっているようで分かっていないと思っております。

委員長

一つの展示をするにしても調査、研究を含めると3年くらいの年月がかかります。ですから、一回縮小させてしまうと元に戻すのは大変なことです。リニューアルオープンの際には、停滞してしまった部分を取り戻し、質の高い展示を行うために、それに見合った人員配置や足りない予算を補正することも必要になると思います。

_____ 委員

その通りだと思います。博物館の四つの部門が調査、研究、資料収集を行ってきたことが基盤になって展示ができる。そのうちの二部門の人員が削減されるというのは博物館の調査、研究についての軽視であるとも考えられます。今後は、そのことを訴えていかなければならないと思っております。

委員長

そのようなことも、協議会の役割だと思います。

それでは、協議事項になっております平成28年度博物館運営方針及び努力目標については、了承ということで(案)を二重線で消してください。

2年間の休館中も、博物館の事務は行っておりますので、どうぞ皆様、今後とも御協力のほど、お願いしたいと思っております。以上で、本日の協議会を終了したいと思っております。